《Lesson 2》関係代名詞の種類

Lesson 1で登場した「（説明したい）名詞」と、その「説明文」ですが、正式には

・説明したい名詞 ＝ **先行詞**
・説明文 ＝ **関係詞節**

と呼ばれますので、これからは「先行詞」「関係詞節」といった言葉を使って関係代名詞の使い方を説明していきます。

【関係代名詞の種類】

*先行詞	主格 **【I】** ～は、～が	所有格 **【My】** ～の	目的格 **【Me】** ～に、～を
人	who	whose	whom / who
人以外 （動物・物・場所など）	which	whose	which
人・人以外（すべて）	that	—	that

*先行詞 ＝ 説明したい名詞

＜例1＞　5か国語話せる男の子
先行詞　：　男の子（人）
関係詞節：　彼は、5か国語話せます（主格）

先行詞が「人」で「主格」
関係代名詞 ＝ **who / that**

【解説】
「先行詞」が「人」であり、「関係詞節」の中で、先行詞を指す代名詞（he）が「主格」として使われているので、ここでは **who** が使われる。

＜例2＞ お父さんが先生の女の子
先行詞　：　女の子（人）
関係詞節：　彼女のお父さんは先生です（所有格）

「人」で「所有格」
関係代名詞 ＝ **whose**

【解説】
「先行詞」が「人」であり、「関係詞節」の中で、先行詞を指す代名詞（her）が「所有格」として使われているので、ここでは **whose** が使われる。

＜例3＞ 彼女がいつも使う車
　先行詞　：　車（人以外）
　関係詞節：　彼女はそれをいつも使います（目的格）

「人以外」で「目的格」
関係代名詞＝ **which / that**

【解説】
「先行詞」が「車（人以外）」であり、「関係詞節」の中で、先行詞を指す代名詞（it）が「目的格」として使われているので、ここでは **which** あるいは **that** が使われる。

ポイント！　語・句・節の違い

「関係詞節」のように、英語では「語」「句」「節」といった言葉がよく登場します。これらはいったい何なのでしょう？

【語】
・単語
・「名詞」「動詞」「形容詞」などがある
　＜例＞　window（名詞）　eat（動詞）　beautiful（形容詞）

【句】
・主語と動詞を含まない語のまとまり
・名詞句　＝ 1つの名詞として扱われる句（フレーズ）
・形容詞句＝ 1つの形容詞として扱われる句（フレーズ）
・副詞句　＝ 1つの副詞として扱われる句（フレーズ）

＜例1＞　Learning Japanese is fun.　（英語の本を読むことは楽しいです）
↑
名詞の働きをしている〈Learning Japanese ＝名詞句〉

＜例2＞　You can use the computer on the table.　（テーブルの上のパソコンを使ってもいいです）
↑
“the computer” を説明〈on the table ＝形容詞句〉

＜例3＞　I run in the morning.（私は朝に勉強します）
↑
“run” を説明（副詞）〈in the morning ＝副詞句〉

【節】

・主語と動詞を含む語のまとまり
・名詞節　＝ 1つの名詞として扱われる節（文）
・形容詞節＝ 1つの形容詞として扱われる節（文）
・副詞節　＝ 1つの副詞として扱われる節（文）
・関係詞節＝ 関係代名詞や関係副詞から始まる節（文）。名詞節、形容詞節、副詞節になる。

＜例1＞

I don’t know <u>what she wants to eat</u>.（彼女が何を食べたいのか分かりません）

↑

名詞の働きをしている〈what she wants to eat ＝ **名詞節**〉

＜例2＞

Where is the magazine <u>that you were reading</u>?（あなたが読んでいた雑誌はどこですか）

↑

“ the magazine”を説明〈that you were reading ＝ **形容詞節 / 関係詞節**〉

＜例3＞

He was sleeping <u>when I was doing my homework</u>.（私が宿題をしている時、彼は寝ていました）

↑

“He was sleeping” が「いつ」だったのか説明〈when I was doing my homework ＝ **副詞節**〉

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。